

【なれた (慣れた)】

この写真のように、毎年、子どもたちはいろいろなものを持って登校してきます。花が咲くころにこうやって花びらを。草木が伸びる頃には植物を。手にしっかりと握りながら登校してきます。



このような姿をよく見せてくれる常連さんのA君がいます。いつも、何かしらの「モノ」を持ってきて、「誰にあげるの」と聞くと、「先生」だったり、「お母さん」だったりします。そして、このA君。このように興味関心が高いだけでなく、言葉のセンスも抜群で、A君と話をするのが私のひそかな楽しみとなっています。

そんなA君の名言を少し紹介します。

その1 春

学習が少しずつ始まって、少しやらねばいけないうことが増えてきて、学校のきびしさ(?)をちょっぴり感じ始めたころの一言

「幼稚園が終わってから、こんなにすぐに学校が始まるなんてしらなかつたよ」

その2 秋

職員室に久しぶりに顔を出したA君に聞いてみました。

「A君、学校にもうなれた？」

「う〜ん、休み時間にはなれたけど、じゅぎょうには、まだなれていない」

なるほど、うまいこというなあと、感心しながらも、思わず笑ってしまいました。



Bさんとそうじをしていたら、けがをしたちょうちょうがいました。とりにたべられないように木の上へのせました。「あしたもいたら、花のみつをあげよう」とBさんがいいました。やさしい心に ほっこり。

※これを書いていたらBさんが来て、「ひらがなの方が1年生もよめるでしょ」とアドバイスをいただきました。なので、ひらがな多めにしてみました。